Intellex
インテリックス

お知らせ

平成 25 年 7 月 2 日
株式会社インテリックス
（コード 8940 東証第二部）

株式会社インテリックス空間設計
壁や床、天井、配管等の「下地」から選択できるセレクトリノベーション
「ちょうどいいリノベーション」サービス開始
～セレクトした設備や部材ごとに、Web 上で費用を算出、価格の透明性を実現～

中古マンションのリノベーション事業を行う当社グループ、株式会社インテリックス空間設計（本社：東京都目黒区　代表取締役：山本 卓也）では、マンションのセレクト型リノベーション「ちょうどいいリノベーション」サービスを開始いたしました。

「ちょうどいいリノベーション」は、住宅設備や資材のみならず、壁や床、天井、配管などの「下地」においても希望に合わせて選択できるサービスです。従来のリノベーション定額制パッケージやセレクトパッケージの多くは、内装を一度すべて壊し、スケルトン（構造躯体）状態からリノベーションを施すものが前提でした。しかし、実際の現場では、すべて壊さず利用できるものは活かしながらリノベーションを行うことが多々あります。インテリックス空間設計では、これまでの１万件以上に及ぶマンションリノベーションから培ったノウハウにより、「既存下地を利用」、「スケルトン」、「スケルトン＋下地性能アップ」といったように「下地からセレクトする」という選択肢を提供しています。これにより、「性能をアップして住み心地にこだわる」、「そのまま利用して浮いた費用でデザインにこだわる」など、利用者の選択肢の幅を広げることを可能にしました。また、2012 年にインテリックス空間設計が開発した「エコ」、「快適」、「安心」に配慮した高性能なマンションリノベーション「エコキューブ」を取り入れることも可能です。

また、リノベーションを検討するユーザーの利便性を高めるため、簡単に見積額を確認することが可能なシミュレーションサイト（http://www.ku-kan.co.jp/）をオープンさせました。従来のＷＥＢ見積サイトとは異なり、間取りやリノベーションの範囲、使用する設備や仕上がりをイメージしながら、実価格に近い概算費用を算出することが可能となりました。予算に応じて費用の調整ができ、利用者にとって “ちょうどいい”リノベーションを見つけることができるサイトになっています。

2012年3月国土交通省において、ストック型の住宅市場への転換を図るため「中古住宅リフォームトータルプラン」が策定されました。また、調査（※）によると、中古マンションに対する抵抗や不安は減少傾向にあり、そのニーズが高まっています。さらには、リノベーション事業者を選ぶ際に重視されることとして、「価格の透明性・明朗さ」が最も多く、4割に及んでいます。インテリックス空間設計では、こうした市場背景を踏まえ、本サービスの提供により、高い品質のサービスを提供し、適正かつ明確な価格提示を行っていきます。

なお、本サービスの開始により、早期に年間受注件数２００件、売上約１０億円を目指してまいります。

※「リフォーム工事における消費者サイドの調査結果」：国土交通省の補助事業として2010年に実施

（参考）

【インテリックスとは】

インテリックスは、首都圏において築年数の経過した中古マンションを、個人から一戸単位で仕入れ、高品質な内装を施してアフターサービス保証を付帯した「リノヴェックスマンション」として一般市場で販売しています。毎年マンションストックが増加する中、中古マンションに「リノベーション（再生）」という新たな価値を付加することにより、中古マンションの円滑な流通を促進することを目指しています。

（2013年5月末までのリノヴェックスマンション販売累計戸数は13,476戸）

【インテリックス空間設計とは】

インテリックスが販売する「リノヴェックスマンション」の設計・施工を行い、年間1,000件以上のマンションリノベーションを行っています。業界トップクラスのリノベーション実績とノウハウをもとに、“見えるところ”のみならず、“見えないところ”へのこだわりをも重視し、利用者に暮らしの安心を提供しています。

【本件に関するお問い合わせ】

＜一般からの問い合わせ先＞
株式会社インテリックス
担当：大庭
電話：03-5766-7070

＜報道関係の問い合わせ先＞
株式会社インテリックス
広報担当：㈱VA インターナショナル
田中・伏木野・田村
電話：03-3499-0016

【「ちょうどいいリノベーション」ＷＥＢ見積システム】

http://www.ku-kan.co.jp/



ポイント①『下地』から考える

スケルトンにして一からやり直す、断熱性能をアップする、そのままの間取りを利用するといったように、設備だけでなく『下地』から選べるのがちょうどいいリノベーション流。
工事費用を大きく左右する部分だけに、『下地』から考えていくことで、リノベーションの選択肢が広がります。

ポイント②金額がスグわかる

希望のリノベーション費用がすぐにわかるので、資金計画の際も便利です。この設備はこだわりたいけどここは安く、など選びながら価格の調整が可能なので、バランスを見ながら自分でカスタマイズできます。

ポイント③デザインを楽しむ

人気のアイテムの中から、コストやデザインテイストを考慮して幅広くセレクト。
迷いすぎずぴったりなものが見つかります。

【ちょうどいいリノベーション　完成イメージ】

